

テーマプロジェクト研究

平成 29 年度

担当教員：鈴木竜太・三矢裕

授業のテーマと目標

プロジェクト方式の教育として、1 年次前期にケースプロジェクト研究、後期にこのテーマプロジェクト研究、それと並行して、専門職学位論文作成に係る現代経営学演習を行い、2 年次前期には、専門職学位論文の作成に専念することとなります。この一連の research-based education を通じて、企業の中核的人材が持つべき事業観、人間観、洞察力、行動力、企業家精神を自発的に学習します。ケースプロジェクト研究とテーマプロジェクト研究では、異業種或いは異なった経験を持つ同期生とのグループ学習、経営者等とのインタビューを通じて、グループダイナミクス、論理的構成力、文章力、発表能力についても研鑽することとなります。

テーマプロジェクト研究は、ケースプロジェクト研究で学んだグループ研究を遂行するノウハウを基に、さらに高度な取り組みをします。ケースプロジェクト研究では、テーマ、チーム構成は担当教員が設定して、戦略を構想する能力を養成しました。一方、テーマプロジェクト研究は、職務上直面する課題、或いは、問題意識を教室に持ち寄って、一緒に考える一つの方策として、学生が自己組織化するチームで、自主的に研究課題を設定し、選んだ問題を多角的に検討し、その本質に迫るものとします。

教科書

井上達彦「ブラックスワンの経営学」NTT 出版

参考書

授業にて紹介します

授業内容の要旨と授業計画

8/19(Sat) 18:50-20:20

オリエンテーション

9/9(Sat) 18:50-20:20

プロジェクトチーム、研究テーマ、研究課題の発表、承認

10/21(Sat) 8:50-20:20

中間報告会

10/28(Sat) 18:50-20:20

中間報告会を受けてのフィードバックセッション

12/16(Sat) 10:40-12:10

中間報告会を受けてのフィードバックセッション

1/6(Sat)8:50-18:30

研究成果発表会

成績評価の方法

1月6日に予定している研究成果発表とその後提出していただく個人内省レポートを評価します。最終評価は研究成果発表50%、個人内省レポート50%で評価します。

テーマプロジェクト研究で要求すること

プロジェクトチーム：5～6人を目安に自己編成すること。4人或いは7人によるチームも可とする。

研究課題：研究課題とは、研究で明らかにする問いのこと。単に、現状がどうなっているかというような調査研究は好ましくなく、何故、如何にというような問いを課題とすること。研究のための研究というようなものではなく、企業経営にインパクトのある課題を設定すること。また、「職務上直面する課題を教室に持ち寄って、一緒に考える一つの方策として」テーマプロジェクト研究を位置づけしているので、チームメンバーにとって、事前知識のない課題は相応しくなく、また、最終的な達成度も低くなると考えられます。

仮説：研究課題の問いへの答えに対応する因果関係の特定。関係する既存研究の命題を基に構築する。探求的な研究ですので、仮説は研究の進行にしたがって、随時改訂してください。

主要文献：研究課題に関係する理論、命題を扱った主要な論文を3つ以上見つけ、参考にすること。

研究方法：2つ以上の企業について、ケースプロジェクト研究で行ったようなインタビューを含むケーススタディを行うこと。インタビュー結果、2次データ、既存研究を論拠として、仮説における因果関係を、説得力をもってサポートすること。ケーススタディを主たる論拠とすること。説得力のある議論を展開するためには、ケース自体にある程度語らせることが必要となるので、特異な、或いは、印象に残るケース対象を選択することが肝要。人が登場するケースの説得力は高くなります。

中間発表：中間発表までには、ケースインタビューを1つは終えていること。

現代経営学演習との関係： テーマプロジェクト研究の課題とチーム編成を修士論文のゼミのものと過度に関係づけようとする、テーマプロジェクト研究はうまく進みません。インパクトの高いテーマ、最強のチーム編成に心がけてください。テーマプロジェクト研究は、ケーススタディですので、厳密さよりは、説得力と論理性が求められています。テーマプロジェクト研究の課題設定では、少し、背伸びをして、インパクトを狙ってください。

授業内容

Day1 (8/19(Sat) 18:50-20:20)：オリエンテーション

このセッションでは、イントロダクションとしてテーマプロジェクト研究の狙いや進め方について説明をしたのち、研究計画の立て方、質的調査（特にケース）の考え方などについてレクチャーしていきます。後半では、プロジェクトメンバーでプロジェクトを進めてもらいます。この日の授業時間中にチーム編成と暫定的な研究課題をブレイクアップして決定してもらいます。各学生は、チーム編成と研究課題について、授業に来る前に最終決定しておく必要はありませんが、この日のうちに決定できるように事前に準備をしておいてください。

Day2 (9/9(Sat) 18:50-20:20)：プロジェクトチームの発表、承認

このセッションでは、各チームに研究テーマと研究課題について発表してもらいます。時間的には簡単なコメントしかできませんが、各チームがどのようなテーマを取り上げたのか、お互いで確認し、自分たちのプロジェクトのスタート地点をしっかりと定めていきましょう。

研究テーマと研究課題に関してプレゼン資料を作成してきてください。チーム毎に、研究テーマ、研究課題、主要文献（研究課題に関係する理論、命題を扱った3つ以上の主要文献）、仮説とケース企業名を2ページ程度で記述したものを提出し、発表していただきます。プレゼンの持ち時間は各チームおよそ5分です。研究テーマと中心に置く研究課題がなぜ面白いのか、クリティカルであるのか、自分たちのテーマプロジェクトの良さを語ってください。

Day3 (10/21(Sat) 8:50-20:20)：中間報告会

各チームに中間報告をしてもらいます。ケース分析を少なくとも1つ終えた上で臨んでください。中間報告では、研究テーマと研究課題に基づきケースから分かってきたことと今後の計画について発表してください。発表時間は20分とします。

Day4 (10/28(Sat) 18:50-20:20)：中間報告会を受けてのフィードバックセッション

各チームは中間報告会の振り返りと、今後の計画、可能であれば予想される結論（仮説に対する検証結果）および含意について発表していただきます。プレゼンの持ち時間は各チームおよそ5分です。

Day5 (12/16(Sat) 10:40-12:10)：中間報告会を受けてのフィードバックセッション

各チームは、授業開始時に、研究テーマ、研究課題、仮説、すべてのケースの概要、結論、含意について4ページ以内で記述したものを提出してください。この日の時間については、各チームで、自由に使ってください。個別に相談がある場合は、12/11（月曜）までに三矢にメールにてアポイントメントを取ってください。

Day6 (1/6(Sat)8:50-18:30)：研究成果発表会

研究成果発表会を行います。発表時間は20分とします。